

日本の祭神 事典

社寺に祀られた郷土ゆかりの人びと

増補改訂版

目次

| | |
|----------------|-----|
| 凡例 | (5) |
| 見出し一覧 | (8) |
| 本文 | 1 |
| 人名索引(五十音順) | 607 |
| 人名索引(時代・分野別索引) | 629 |
| 見出し一覧 | 630 |
| 社寺名索引 | 649 |
| 事項名索引 | 671 |

凡例

1. 本書の内容

本書は、国内の神社や寺院などで祀られている実在の人物と、その社寺等を都道府県別にまとめた事典である。

2. 収録対象

- (1) 日本国内に所在する神社、寺院、小祠、堂などで祀られている事績のあきらかな人物。
- (2) 人物により、祀られている社寺等が多数ある場合、その人物と特にゆかりの深い社寺等を選んだ。
- (3) 原則として、戦没者を主として祀っている神社は対象外とした。一部の護国神社等は代表的な人物(祭神)のみ掲載した。
- (4) 収録見出し数(のべ)は、人名 1,575 人、社寺等 1,834 社である。

3. 記載事項

(1) 記載形式

- 1) 見出しとした人名以外にも名をもつ場合、また別表記や別読みがある場合は、(別名)として示した。
- 2) 人名・社寺等の読みが判明しなかった場合、編集部で適切と思われる読みを記し、末尾に*を付した。
- 3) 一つの社寺の祭神に、本書で見出しとした人物が複数いる場合、社寺の詳細(所在地・説明・祭神)は、そのうち代表的な人物(祭神)の見出し下のみに表示した。それ以外の人物には、人物説明の下に参照を立てた。

(2) 記載項目

◇人名 よみ 生没年

説明

(出生地)・(出身地) (別名)

㊦ 社寺等の名称 よみ 所在地

説明

祭神

[社寺参照例]

◇ 織田信忠 おだのぶただ

㊦ 建勲神社 たけいさおじんじゃ → 織田信長 (おだのぶなが)

4. 排 列

- (1) 都道府県順に、概ね北から南へと排列した。
- (2) 都道府県見出しの下、人名の五十音順に排列した。
- (3) 同一人名の下に社寺等が複数ある場合、その名称の五十音順に排列した。
- (4) 濁音・半濁音は清音とし、ヂ→シ、ヅ→スとした。促音・拗音は直音とみなし、長音符（音引き）は無視した。

5. 索 引

- (1) 人名索引（五十音順）
 - 1) 本文で見出しとした人物および見出しとしなかったが祭神である人物を対象とした。
 - 2) 人名を五十音順に排列し、掲載頁を示した。本文に見出しとして掲載されている場合、掲載頁を太字で示した。
- (2) 人名索引（時代・分野別）
 - 1) 本文で見出しとした人物を時代・分野ごとに分けた。（別掲「見出し一覧」p630 参照）
 - 2) 各時代見出しの下、分野見出しを設け、その下に人名を五十音順に排列、掲載頁を示した。
- (3) 社寺名索引
 - 1) 社寺等の名称および別称に都道府県を補記し、五十音順に排列、掲載頁を示した。
 - 2) 境内社の場合、その旨を〔 〕で補記した。また、別称には本文で見出しとした名称を〔 〕で補記した。
- (4) 事項名索引
 - 1) 祭礼・行事名、御利益、歴史上の事件名、各種用語などの事項

名を五十音順に排列した。

- 2) 指示先見出しは本文掲載順とし、掲載頁を示した。社寺名見出しには都道府県を補記した。
- (5) 排列上、濁音・半濁音は清音とし、ヂ→シ、ヅ→スとした。促音・拗音は直音とみなし、長音符（音引き）は無視した。同一名称の排列は、本文掲載順とした。

6. 主要参考資料

各都道府県神社庁ウェブサイト
神社・寺院等の公式ウェブサイト
都道府県・市区町村の公式ウェブサイト
全国各地の観光協会ウェブサイト
関係団体・企業のウェブサイト

データベース「WHO」（日外アソシエーツ）

『明治神社誌料 府県郷社』上・中・下巻 明治神社誌料編纂所編・発行 1912年（講談社 1975年復刻）
『明治神社誌料 索引』梅田義彦編 講談社 1975年
『全国神社名鑑』上・下巻 全国神社名鑑刊行会編 史学センター 1977年
『郷土を救った人びと一義人を祀る神社』神社新報社編・発行 1981年
『東京都神社名鑑』上・下巻 東京都神社庁編・発行 1986年
『神社辞典 新装普及版』白井永二・土岐昌訓編 東京堂出版 1997年
『京都・山城 寺院神社大事典』平凡社編・発行 1997年
『大和・紀伊 寺院神社大事典』平凡社編・発行 1997年
『増補改訂 日本神名辞典』神社新報社 2001年
『近世義民年表』保坂智編 吉川弘文館 2004年
『武士神格化の研究 資料篇』高野信治著 吉川弘文館 2017年
『農と水の民俗一人神信仰と農業用水』中山正典著 昭和堂 2023年

見出し一覧

北海道

| | |
|------------------------|----|
| 北海道 | 1 |
| 吾妻謙 | 1 |
| 阿倍比羅夫 | 1 |
| 井上長秋 | 2 |
| 伊能忠敬 | 2 |
| 岩村通俊 | 2 |
| 岡本監輔 | 3 |
| 小針屋佐七 ⇒中川五郎治(なかがわごろうじ) | |
| 小山隆政 | 3 |
| 蠣崎信広 ⇒武田信広(たけだのぶひろ) | |
| 蠣崎慶広 ⇒松前慶広(まつまえよしひろ) | |
| 桓武天皇 | 4 |
| 黒田清隆 | 4 |
| 小林重吉 | 5 |
| 駒井政五郎 | 5 |
| 近藤重蔵 | 5 |
| 佐藤信景 | 5 |
| 佐野孫右衛門(4代) | 6 |
| 島義勇 | 6 |
| 清水谷公考 | 6 |
| 下国安芸 | 6 |
| 鈴鹿甚右衛門 | 7 |
| 栖原角兵衛(10代) | 7 |
| 高田屋嘉兵衛 | 7 |
| 武田信広 | 7 |
| 田崎東 | 8 |
| 伊達邦成 | 8 |
| 伊達邦直 | 8 |
| 伊達成実 | 9 |
| 田村顕允 | 9 |
| 続豊治 | 10 |
| 徳川慶勝 | 10 |
| 中川五郎治 | 10 |
| 永山武四郎 | 11 |
| 鍋島直正 | 11 |

| | |
|-----------|----|
| 早川弥五左衛門 | 11 |
| 東久世通禧 | 12 |
| 本多利明 | 12 |
| 松浦武四郎 | 12 |
| 松川弁之助 | 13 |
| 松田伝十郎 | 13 |
| 松前徳広 | 13 |
| 松前慶広 | 13 |
| 間宮林蔵 | 14 |
| 源義経 | 14 |
| 村山伝兵衛(3代) | 14 |
| 明治天皇 | 15 |
| 最上徳内 | 16 |
| 依田勉三 | 16 |
| 渡辺与八郎 | 16 |

東北

| | |
|------------------------|----|
| 青森県 | 17 |
| 川村惣太郎 | 17 |
| 北畠顕信 | 17 |
| 北畠守親 | 18 |
| 坂上莉田麻呂 | 18 |
| 坂上田村麻呂 | 18 |
| 徐福 | 19 |
| 進藤正次 | 19 |
| 堰太郎左衛門 ⇒堰八安高(せきはちやすたか) | |
| 堰八安高 | 20 |
| 津軽為信 | 20 |
| 津軽信英 | 20 |
| 津軽信政 | 21 |
| 南部直房 | 21 |
| 南部光行 | 21 |
| 藤原実方 | 22 |
| 源義光 | 22 |
| 岩手県 | 23 |
| 奥寺八左衛門 | 23 |

| | |
|----------------------|----|
| 鎌津田甚六 | 23 |
| 九戸政実 | 23 |
| 後藤寿庵 | 24 |
| 昆野八郎右衛門 | 24 |
| 静御前 | 24 |
| 南部実継 | 25 |
| 南部実長 | 25 |
| 南部利敬 | 25 |
| 南部利直 | 26 |
| 南部長継 | 26 |
| 南部信直 | 26 |
| 南部信政 | 26 |
| 南部信光 | 26 |
| 南部政長 | 27 |
| 南部政光 | 27 |
| 南部光行 | 27 |
| 南部師行 | 27 |
| 能伝房 | 27 |
| 波木井実長 ⇒南部実長(なんぶさねなが) | |
| 源義経 | 28 |
| 村上道浄 | 28 |

| | |
|--------------------|----|
| 宮城県 | 30 |
| 猪狩新兵衛(4代) | 30 |
| 片倉景綱 | 30 |
| 川村孫兵衛重吉 | 30 |
| 北畠顕家 | 31 |
| 北畠親房 | 31 |
| 九戸政実 | 31 |
| 後村上天皇 | 32 |
| 惟喬親王 | 32 |
| 坂上田村麻呂 | 33 |
| 新八 | 33 |
| 仙台四郎 | 33 |
| 伊達安芸 ⇒伊達宗重(だてむねしげ) | |
| 伊達成実 | 34 |
| 伊達政宗 | 34 |

見出し一覧

東北

| | |
|----------------------------|----|
| 伊達宗重 | 35 |
| 伊達行朝 | 35 |
| 伊達行宗 ⇒伊達行朝(だてゆきとも) | |
| 常陸坊海尊 | 35 |
| 源融 | 36 |
| 愛姫 | 36 |
| 山家清兵衛 | 36 |
| 結城宗広 | 37 |
| 陽徳院 ⇒愛姫(めぐひめ) | |
| 用明天皇 | 37 |
| 秋田県 | 39 |
| 石川理紀之助 | 39 |
| 木内惣五郎(宗吾) ⇒佐倉惣五郎(さくらそうごろう) | |
| 北愛清 | 39 |
| 栗田定之丞 | 40 |
| 斎藤宇一郎 | 40 |
| 佐倉惣五郎 | 40 |
| 佐竹義堯 | 41 |
| 佐竹義宣 | 41 |
| 佐竹義和 | 41 |
| 佐藤甚助 | 42 |
| 佐藤信淵 | 42 |
| 聖徳太子 | 42 |
| 平国香 | 43 |
| 遠山治兵衛 | 43 |
| 仁賀保拳誠 | 43 |
| 畠山久左衛門 | 44 |
| 平田篤胤 | 44 |
| 六郷政乗 | 44 |
| 和井内カツ子 | 45 |
| 和井内貞行 | 45 |
| 渡部斧松 | 45 |
| 山形県 | 47 |
| 上杉景勝 | 47 |
| 上杉謙信 | 47 |
| 上杉治憲 | 48 |
| 上杉鷹山 ⇒上杉治憲(うえずぎはるのり) | |
| 梅澤運平藤原綱利 | 48 |
| 織田信長 | 48 |

| | |
|----------------------------|----|
| 木内惣五郎(宗吾) ⇒佐倉惣五郎(さくらそうごろう) | |
| 菊地藤五郎 | 49 |
| 北楯利長 | 49 |
| 北畠顕信 | 50 |
| 北畠親房 | 50 |
| 北畠天童丸 | 50 |
| 清河八郎 | 51 |
| 西郷隆盛 | 51 |
| 酒井家次 | 52 |
| 酒井忠発 | 52 |
| 酒井忠徳 | 52 |
| 酒井忠器 | 52 |
| 酒井忠勝 | 53 |
| 酒井忠次 | 53 |
| 酒井忠恒 | 53 |
| 酒井忠予 | 53 |
| 酒井忠休 | 54 |
| 佐倉惣五郎 | 54 |
| 順徳天皇 | 54 |
| 白井矢太夫 | 55 |
| 菅実秀 | 55 |
| 平衡盛 ⇒戸澤平衡(とざわひらもり) | |
| 竹俣当綱 | 55 |
| 鉄竜海 | 56 |
| 天宥 | 56 |
| 徳川信康 ⇒松平信康(まつだいらのぶやす) | |
| 戸澤平衡 | 56 |
| 戸澤正実 | 57 |
| 戸澤政盛 | 57 |
| 直江兼続 | 57 |
| 長尾顕景 ⇒上杉景勝(うえずぎかけかつ) | |
| 長尾景虎 ⇒上杉謙信(うえずぎけんしん) | |
| 莅戸太華 | 58 |
| 蜂子皇子 | 58 |
| 林崎甚助 | 58 |
| 藤原蘊安 | 59 |
| 細井平洲 | 59 |
| 本間四郎三郎 | 59 |
| 松平利長 | 60 |
| 松平信一 | 60 |

| | |
|----------------------------|----|
| 松平信康 | 60 |
| 水野忠邦 | 61 |
| 水野忠元 | 61 |
| 矢部定謙 | 62 |
| 福島県 | 63 |
| 荒至重 | 63 |
| 板倉重矩 | 63 |
| 板倉重昌 | 63 |
| 大久保利通 | 64 |
| 大塩平左衛門 | 64 |
| 小野篁 | 65 |
| 木内惣五郎(宗吾) ⇒佐倉惣五郎(さくらそうごろう) | |
| 北畠顕家 | 65 |
| 北畠顕信 | 65 |
| 北畠親房 | 66 |
| 北畠守親 | 66 |
| 坂上田村麻呂 | 66 |
| 佐倉惣五郎 | 67 |
| 佐藤新右衛門 | 67 |
| 澤村勝為 | 67 |
| 静御前 | 68 |
| 聖徳太子 | 68 |
| 鈴木吉之丞 | 69 |
| 相馬都胤 | 69 |
| 相馬昌胤 | 69 |
| 相馬愨胤 | 69 |
| 相馬師常 | 70 |
| 衣通姫 | 70 |
| 平忠通 | 71 |
| 平将門 | 71 |
| 千葉師常 ⇒相馬師常(そうまもろつね) | |
| 中臣鎌足 ⇒藤原鎌足(ふじわらのかまたり) | |
| 中目兵庫 | 71 |
| 藤原鎌足 | 71 |
| 古河善兵衛 | 72 |
| 保科正之 | 72 |
| 松平容保 | 73 |
| 松平定信 | 73 |
| 三森治右衛門光豊 | 74 |
| 愛子(珍敷御前) | 74 |
| 以仁王 | 74 |

神奈川県

◇浅利信種 あさりのぶたね ?~永禄12(1569)年

戦国時代の武将。武田氏家臣。右馬助・式部少輔。甲州八代郡浅利郷の領主。天文9(1540)年に侍大将となり、のち譜代家老衆百二十騎持となった。永禄12(1569)年、武田信玄と北条氏が争った三増峠の戦いで戦死した。

◎浅利明神 あさりみょうじん (所在地)神奈川県愛甲郡愛川町三増1601

武田家24将の一人にも数えられた浅利信種を祀る神社。永禄12(1569)年、三増合戦で信種は戦死、武田信玄はその死を悼んで同地に墓を作り、供養を行なったとされる。その後、寛政1(1789)年に地元の人が墓の脇で骨壺を掘り出し、村人達はそれを信種の骨壺であるとして浅利明神として祀り直したと伝えられる。

(祭神)浅利信種

◇安倍晴明 あべのせいめい 延喜21(921)年~寛弘2(1005)年9月26日

平安時代中期の陰陽師。安倍益材の子。賀茂忠行・保憲父子に天文道や陰陽道を学び、天文得業生、天文博士、主計権助、左京権大夫などを歴任。陰陽道を極めたとされ、職神(式神)を駆使して異変を予知したり、大江山の鬼退治を指導したなどの逸話が「今昔物語」「古今著聞集」など多くの文献に残る。安倍氏(土御門家)の祖とされ、子孫は代々陰陽頭となったが、晴明自身は陰陽頭までは出世できなかった。著書に「占事略決」。(別号)阿倍清明

◎安部清明大神碑 あべのせいめいのおおかみひ (所在地)神奈川県鎌倉市山ノ内

北鎌倉には安倍晴明が訪れたという伝承がある。『吾妻鏡』治承4(1180)年10月9日の項に、源頼朝の鎌倉館の建設中、山ノ内の兼道という者の館を仮屋として使うが、この館が今まで火事に遭っていないのは「晴明朝臣」が鎮宅の符を押したためである、といった記述がある。「安部清明大神」の文字が刻まれた石碑が、北鎌倉駅踏切近くと第六天社の階段途中にある。

(祭神)安部清明(安倍晴明)

◇池上太郎左衛門 いけがみたらうざえもん 享保3(1718)年~寛政10(1798)年2月15日

江戸時代中期の新田開発家、殖産興業家。武蔵橋樹郡大師河原村の名主。宝暦12(1762)年767両を投げ、池上新田、さらに塩浜新田を開発。その功により明和5(1768)年名字帯刀をゆるされた。砂糖の製法研究を行い、30余年の研究の末に砂糖の製造に成功し、諸国を巡って製糖技術を普及させた。また甘蔗の栽培の奨励、製塩、製硝、果樹栽培など諸産業の開発にも尽くした。著書に「和製砂糖製造弘方御用相勤候由諸書」「池上与楽亭集」など。(出生地)武蔵国橋樹郡大師河原村(神奈川県川崎市)(別号)池上幸豊

◎汐留稻荷神社 しおどめいなりじんじゃ (所在地)神奈川県川崎市川崎区池上新町2-24-21
大師河原村の名主・池上太郎左衛門幸豊は、宝暦6(1756)年より6年の歳月をかけて新田を開発、宝暦12(1762)年に同地は「池上新田」と命名され一村となったが、汐留稻荷神社はその新田の守護神として、宝暦11(1761)年に勧進された。境内には「池上幸豊翁之碑」が建立されている。

(祭神)豊宇気姫命, 大物主大神, 崇徳天皇, 池上太郎左衛門幸豊

◇伊藤博文 いとうひろぶみ 天保12(1841)年9月2日~明治42(1909)年10月26日

明治時代の政治家。安政4(1857)年吉田松陰の松下村塾に学び、幕末の動乱期には師や同藩の桂小五郎(木戸孝允)、高杉晋作、久坂玄瑞らの影響を受けて尊皇攘夷運動に加わる。文久3(1863)年志願して井上聞多(井上馨)と渡英、ここで攘夷の不可能なことを悟り、帰国後は開国論に転換して列国との講和に努めた。明治維新後は新政府に出仕、明治4(1871)年岩倉使節団に副使として参加し、欧米を歴訪。帰国すると内治優先を主張して西郷隆盛ら征韓論派を排し、大久保利通や岩倉具視を援けて政府の中枢に参画。同11(1878)年大久保の死後はその後継として内務卿となり、さらに明治十四年の政変で大隈重信が下野してからは政府の実質的な最高指導者となった。同18(1885)年内閣制度を創始し、初代内閣総理大臣となって第1次伊藤内閣を組閣。また、井上毅らを従え憲法草案及び皇室典範の起草に力を注ぎ、同22(1889)年大日本帝国憲法の発布を実現させた。4度にわたって首相を務め、同33(1900)年には自ら立憲政友会を結党して総裁に就任。同39(1906)年韓国統監府初代統監となり、同42(1909)年満州視察の際にハルビン駅で暗殺された。(出生地)周防国熊毛郡東村野尻(山口県光市)(別号)伊藤春猷(いとうしゅんぼ), 滄浪閣主人

◎七賢堂 しちけんどう (所在地)神奈川県中郡大磯町国府本郷551-1(大磯城山公園)

明治の元勳である岩倉具視、大久保利通、三条実美、木戸孝允、伊藤博文、および最後の元老・西園寺公望、戦後の総理大臣・吉田茂を祀る。もとは明治36(1903)年に伊藤博文が神奈川県大磯の自邸「滄浪閣」に岩倉・大久保・三条・木戸を祀る四賢堂として建てたもので、伊藤の没後には梅子夫人の手によって伊藤が合祀され五賢堂となった。以後、伊藤の命日10月26日をもって例祭日とする。のち「滄浪閣」は幾人か主人を変えたが、五賢堂は昭和35(1960)年同じく大磯在住であった吉田茂の邸宅に遷座され、同37年吉田が尊敬する西園寺公望を合祀、さらに吉田の没後の同43年には佐藤栄作によって吉田が合祀され、七賢堂と改称された。なお、「七賢堂」の扁額は佐藤の揮毫によるものである。平成21(2009)年、吉田邸は火災によって焼失したが七賢堂は焼失を免れている。

(祭神)岩倉具視, 三条実美, 木戸孝允, 大久保利通, 伊藤博文, 西園寺公望, 吉田茂

◎藤公神社 とうこうじんじゃ (所在地)神奈川県中郡大磯町西小磯853 白岩神社境内
伊藤博文が没した翌年、明治43(1910)年に、西大磯町西小磯の鎮守・白岩神社拝殿脇の斜面に祠を造営。祠内には御神体として伊藤の銅像が2体祀られている。白岩神社の祭礼時のみ、祠の扉が開けられる。博文は、明治29(1896)年に別邸・滄浪閣を小田原から大磯へ移し、翌年には本籍を東京から大磯へ移して大磯町民となり、生活の場とした。伊藤の存在が絶大であった大磯には逸話や遺品が数多く遺さ

奈良県

◇阿保親王 あほしんのう 延暦11(792)年～承和9(842)年10月22日

平安時代前期、平城天皇の第一皇子、母は葛井藤子。弘仁1(810)年葉子の乱に連座して大宰権帥に左遷。天長1(824)年ゆるされて京へ戻り、天長3(826)年上表して、その子行平、業平、守平らに在原の姓を請う。その後、上総・上野国守、兵部卿、弾正尹などを歴任。承和9(842)年伴健岑の謀反計画を密告し、これが承和の変の発端となった。

◎在原神社 ありわらじんじゃ → 在原業平(ありわらのなりひら)

◇在原業平 ありわらのなりひら 天長2(825)年～元慶4(880)年5月28日

平安時代前期の歌人。阿保親王の五男、母は伊都内親王。天長3(826)年在原朝臣の姓を賜る。貞観5(863)年従五位上。右馬頭、従四位等を経て、元慶3(879)年蔵人頭となる。美男で和歌に優れ、業平をモデルにしたとされる恋物語が「伊勢物語」に残る。六歌仙および三十六歌仙の一人で、「古今集」以下の勅撰集に多くの歌が入集している。(別名)在原朝臣業平(ありはらのあそんなりひら)、在五中将(ざいごちゅうじょう)

◎在原神社 ありわらじんじゃ (所在地)奈良県生駒郡斑鳩町高安1-4 高安天神社境内社
平安時代の歌人・在原業平が河内の高安に通った際、業平道の道沿いにあたるこの集落を通ったことから、業平を祀った社が建てられたとされる。また、村人が業平のことを忘れないようにと集落の名前を高安村に変えたという話、さらに美しい娘は業平が通った際に連れ去られないようにと顔に鍋墨を塗って醜く姿を変えたという話が伝承として残されている。

(祭神)在原業平

◎在原神社 ありわらじんじゃ (所在地)奈良県天理市樺本町市場垣内字在原

在原業平と阿保親王(業平の父)を祭神とする。かつては在原寺があり、これは阿保親王が承和2(835)年に勸請して建立したものと伝えられている。また社記には、元慶4(880)年には業平が死去したため、その邸宅を在原寺としたとも記されている。業平神社の創建年は不明であるが、このように一時在原寺と在原神社が存在した。明治1(1868)年には廃仏毀釈のため、在原寺はなくなり現在の在原神社となった。この場所は業平の居住地といわれており、筒井筒で知られる井戸が残っている。

(祭神)在原業平、阿保親王

◇井上内親王 いのえないしんのう 養老1(717)年～宝亀6(775)年4月27日

奈良時代の女性、光仁天皇の皇后。聖武天皇の長女、母は県犬養広刀自。養老

5(721)年齋内親王となり、のちに白壁王(光仁天皇)の妃となる。宝亀1(770)年白壁王(光仁天皇)の即位により、皇后となるが、宝亀3(772)年謀叛のかどで皇后を廃され、翌年子の他戸親王と大和国宇智郡に幽閉され、宝亀6(775)年母子とも同じ日に没した。のちに罪をとかれ、延暦19(800)年皇后位が回復された。(別名)井上内親王(いかみのないしんのう、いがみないしんのう、いかみないしんのう、いのえないしんのう、いのえのいしんのう)

◎御霊神社 ごりょうじんじゃ (所在地)奈良県五條市靈安寺町2206

井上内親王、早良親王、他戸親王を祭神とする。「御霊本宮」とも呼ばれ、五條市内の御霊神社はここから分祀したとされ、その数20社にのぼる。「靈安寺御霊大明神略縁起」「御霊宮本紀」によると桓武天皇勅願により創祀とある。井上内親王の没後、都に天変地変相次ぎ、悪疫流行したため、祟りと恐れられた天皇が霊を慰めるために、宝亀8(777)年勅使を差し向けて、墳墓を御墓と称して、墓守を置き、守護した。延暦19(800)年に皇后の位に復し、「靈安寺」に「御霊神社」を建立したことが御霊信仰の始まりといわれる。三間社流造の本殿は江戸時代の様式で奈良県指定文化財。境内には井上内親王の子の他戸親王を祀る「他戸神社」、早良親王を祀る「早良神社」がある。社宝として「御霊大明神座像(女神像)」、承久3(1221)年の銘がある青磁合子、応永19(1412)年銘の御供櫃などを所蔵する。秋の例祭は毎年10月下旬で、渡御神事がある。御旅所では、出店で賑わい、渡御は夕刻本社に還幸するが、市内至る所にある各御霊神社でも祭事が行われ、市内は祭り一色となる。

(祭神)井上内親王・早良親王・他戸親王

◎御霊神社 ごりょうじんじゃ (所在地)奈良県奈良市薬師堂町24

元興寺五重塔跡の南西に鎮座する。延暦19(800)年に桓武天皇の勅願により、奈良県五條市の「御霊神社本宮」から分霊。東側社殿、西側社殿にはそれぞれ三座を祀る。「木比御霊」とも称され、「南都名所集」には吉備真備以下八所御霊を祀るとあり、元興寺鎮守のため、「八重桜」にも吉備大臣を祀ったという。同じ奈良市にある「崇道天皇社」とともに南部二大御霊社とされる。74町の広範囲の氏子領域を持つ氏神として、平和・商売繁盛の神と古来より信仰される。例祭日は昔は9月13日で、神主は興福寺の工匠座である寺座の大工が勤仕したとある。秋季例祭は10月13日。御輿渡御があり、時代装束に身を包んだ氏子、獅子舞がならまちを練り歩く。

(祭神)本殿：井上皇后、他戸皇太子、事代主命、左：早良親王、藤原大夫人、藤原広嗣、右：伊予親王、橋逸勢、文屋宮田磨

◇伊予親王 いよしんのう ?～大同2(807)年11月12日

平安時代前期、桓武天皇の第三皇子、母は藤原是公の娘吉子。式部卿、中務卿などを務め、延暦23(804)年近江国蒲生郡の荒田53町を賜るなどしたが、大同2(807)年藤原宗成の虚言によって謀反の疑いをかけられ、親王号を削られて母と共に大和川原寺に幽閉されたため、2人共自害した。弘仁10(819)年になって無罪が判明し、親王号は復されて名誉回復がなった。

◎御霊神社 ごりょうじんじゃ → 井上内親王(いのえないしんのう)

◎八所御霊神社 はっしょごりょうじんじゃ → 早良親王(さわらしんのう)

【あ】

| | |
|----------------------|-----------------------------------|
| 愛新覚羅慧生 | 431 |
| 愛新覚羅浩 | 431 |
| 愛新覚羅溥傑 | 431 |
| 会津藩歴代藩主 | 72 |
| 青木牛之助 | 570 |
| 青木昆陽 | 100, 112 |
| 吾妻謙 | 1 |
| 赤禰武人 | 432 |
| 赤松源右衛門 | 305 |
| 秋月藩歴代藩主 | 520 |
| 秋元喬知 | 305 |
| 秋山自雲 | 119 |
| 秋山新左衛門 | 513 |
| 悪源太 ⇒源義平(みなもとのよしひら) | |
| 明智左馬助 | 511 |
| 明智光秀 | 305 |
| 浅井治郎兵衛 | 250 |
| 浅井長治 | 570 |
| 安積五郎 | 306 |
| 阿座上正蔵 | 432 |
| 浅野内匠頭 ⇒浅野長矩(あさのながのり) | |
| 浅野長晟 | 422 |
| 浅野長勲 | 422 |
| 浅野長友 | 364 |
| 浅野長直 | 364 |
| 浅野長矩 | 364 |
| 浅野長政 | 422 |
| 浅野幸長 | 423 |
| 浅利信種 | 144 |
| 足利秀景 | 570 |
| 足利義将 ⇒斯波義将(しばよしまさ) | |
| 按察使局伊勢 | 513 |
| 足立重信 | 476 |
| 敦実親王 | 2, 289, 306 |
| 穴穂皇子 | 187 |
| 穴穂部間人皇后 | 362 |
| 安倍晴明 | 144, 192, 227, 264, 307, 347, 394 |
| 阿倍比羅夫 | 1 |
| 阿部正次 | 423 |
| 阿部正弘 | 423 |
| 阿保親王 | 347, 364, 380 |

| | |
|------------------------|---|
| 天ヶ崎嘉右衛門 | 250 |
| 天野金右衛門 | 264 |
| 天野清三郎 ⇒渡辺蒿蔵(わたなべこうぞう) | |
| 天野隆良 | 435 |
| 天野御民 ⇒冷泉雅二郎(れいぜいまさじろう) | |
| 天野屋利兵衛 | 307 |
| 荒井顕道 | 208 |
| 荒至重 | 63 |
| 有馬豊氏 | 513 |
| 有馬晴信 | 192 |
| 有馬頼成 | 514 |
| 有馬頼永 | 514 |
| 有馬頼隆 | 514 |
| 有道惟行 | 100 |
| 有吉熊次郎 | 432 |
| 在原業平 | 365, 380 |
| 安閑天皇 | 353 |
| 安西正光 | 369 |
| 安藤伊右衛門 | 401 |
| 安藤惣之進 | 476 |
| 安藤帯刀 ⇒安藤直次(あんどうなおつぐ) | |
| 安藤継明 | 476 |
| 安藤直次 | 394 |
| 安徳天皇 | 119, 181, 426, 432, 460, 466, 479, 514, 570 |
| 阿間了願 | 348 |

【い】

| | |
|---------------------|-----|
| 飯田正伯 | 433 |
| 飯田俊徳 | 433 |
| 井伊共保 | 289 |
| 井伊直弼 | 120 |
| 井伊直孝 | 290 |
| 井伊直政 | 290 |
| 伊賀家長 ⇒平家長(たいらのいえなが) | |
| 猪狩新兵衛(4代) | 30 |
| 池上太郎左衛門 | 144 |
| 池田忠雄 | 401 |
| 池田忠継 | 401 |
| 池田輝政 | 413 |
| 池田利隆 | 413 |
| 池田王 | 497 |

見出し一覧

| | |
|---------------------------------------|--|
| 古墳時代…………… 631 | 室町時代…………… 636 |
| 天皇・皇族/豪族 | 天皇・皇族/公卿/武士・武将/治水・開拓/琉球王国の人物 |
| 飛鳥時代…………… 631 | 戦国・安土桃山…………… 636 |
| 天皇・皇族/官人/武将/宗教者/その他 | 公家/武士・武将/神道家/女性/治水・開拓/技術者/文化・芸術/琉球王国の人物/その他 |
| 奈良時代…………… 631 | 安土桃山～江戸前期…………… 638 |
| 天皇・皇族/公卿・貴族/官人・女官/武士・武将/宗教者/文化・芸術/その他 | 将軍/武士・武将/女性/義民/治水家/その他 |
| 平安時代…………… 632 | 江戸時代…………… 639 |
| 天皇・皇族/貴族/豪族/武士・武将/宗教者/女性/文化・芸術/その他 | 天皇・皇族/公家/将軍/大名/武士/宗教者/代官/村役人/女性/義民/子供/治水・開拓/農政家/産業・技術/商人/思想家・学者/医師/文化・芸術/剣術家/探検家/琉球王国の人物/その他 |
| 平安末期～鎌倉前期…………… 634 | 幕末維新…………… 644 |
| 天皇・皇族/公卿・貴族/武士・武将/宗教者/女性/琉球王国の人物 | 天皇・皇族/公家/政治家/将軍/大名/武士・志士/宗教者/治水・開拓/農業・水産業/技術者/商人/思想家・学者/医師/探検家/琉球王国の人物/その他 |
| 鎌倉時代…………… 634 | 近現代…………… 646 |
| 天皇・皇族/公卿/武士・武将/女性/陶工/琉球王国の人物 | 天皇・皇族/華族/政治家/軍人/警察官/官吏/女性/義民/実業家/治水・開拓/農業・水産業/学問・文化/その他 |
| 鎌倉後期～南北朝…………… 635 | |
| 天皇・皇族/公家/武士・武将/神官/女性 | |
| 南北朝時代…………… 635 | |
| 天皇・皇族/公家/武士・武将/女性/琉球王国の人物/その他 | |

古墳時代

| | |
|------------------------------------|--|
| 天皇・皇族 | |
| 継体天皇…………… 194 | |
| 宣化天皇…………… 237 | |
| 衣通姫 …… 70, 115, 186, 328, 397, 527 | |
| 雄略天皇…………… 392 | |
| 履中天皇…………… 164, 392 | |

| | |
|--------------------|--|
| 豪族 | |
| 大伴金村…………… 193, 382 | |

飛鳥時代

| | |
|--|--|
| 天皇・皇族 | |
| 皇極天皇…………… 481, 501, 521 | |
| 孝徳天皇…………… 352 | |
| 弘文天皇…………… 113, 234, 295 | |
| 聖徳太子…………… 42, 68, 86, 126, 170, 323, 355 | |
| 推古天皇…………… 386 | |
| 崇峻天皇…………… 356 | |
| 天智天皇…………… 299, 487, 530 | |
| 天武天皇…………… 239, 332 | |
| 舎人親王…………… 333 | |
| 蜂子皇子…………… 58 | |
| 敏達天皇…………… 359 | |
| 古人大兄皇子…………… 222 | |
| 文武天皇…………… 183, 302 | |
| 用明天皇…………… 37, 361, 598 | |

| | |
|---------------------------------|--|
| 官人 | |
| 太安麻呂…………… 382 | |
| 小野妹子…………… 292, 312 | |
| 小野毛人…………… 312 | |
| 佐伯有若…………… 177 | |
| 蘇我赤兄…………… 114, 503 | |
| 蘇我入鹿…………… 387 | |
| 蘇我倉山田石川麻呂…………… 237 | |
| 中臣御食子…………… 135 | |
| 秦河勝…………… 373 | |
| 稗田阿礼…………… 374, 389 | |
| 藤原鎌足…………… 71, 80, 157, 360, 390 | |
| 宮勝木実…………… 246 | |

| | |
|--------------------|--|
| 物部守屋…………… 248, 494 | |
|--------------------|--|

| | |
|----------------|--|
| 武将 | |
| 阿倍比羅夫…………… 1 | |
| 大伴狭手彦…………… 394 | |
| 村国男依…………… 247 | |

| | |
|------------------|--|
| 宗教者 | |
| 佐伯有頼…………… 176 | |
| 佐伯鞍職…………… 426 | |
| 土師真中知…………… 136 | |
| 桧前浜成・竹成…………… 136 | |

| | |
|---------------|--|
| その他 | |
| 高麗若光…………… 102 | |
| 猿千代麿…………… 538 | |
| 成満…………… 543 | |

奈良時代

| | |
|-------------------------|--|
| 天皇・皇族 | |
| 井上内親王…………… 308, 380 | |
| 他戸親王…………… 310, 382 | |
| 元正天皇…………… 233 | |
| 孝謙天皇…………… 77, 85, 560 | |
| 光仁天皇…………… 352 | |
| 早良親王…………… 319, 370, 386 | |
| 淳仁天皇…………… 298, 323, 371 | |
| 聖武天皇…………… 280 | |
| 舎人親王…………… 333 | |
| 藤原吉子…………… 339, 391, 490 | |

| | |
|-------------------------------|--|
| 公卿・貴族 | |
| 池田王…………… 497 | |
| 橘清友…………… 330, 485 | |
| 橘諸兄…………… 485, 539 | |
| 藤原宇合…………… 138 | |
| 和氣清麻呂…………… 345, 421, 535, 599 | |

| | |
|------------------------------|--|
| 官人・女官 | |
| 太安麻呂…………… 382 | |
| 吉備真備…………… 315, 368, 403, 417 | |
| 神田宗次…………… 537 | |
| 稗田阿礼…………… 374, 389 | |
| 藤原広嗣…………… 138, 338, 390, 543 | |
| 藤原百川…………… 138 | |
| 路豊永…………… 340 | |

【あ】

| | |
|------------------------------|-------------------------|
| 藍澤五卿神社(静岡県) … | 251, 260～262 |
| 藍沢神社〔藍澤五卿神社〕(静岡県) | 251, 260～262 |
| 愛新覚羅社〔中山神社境内摂社〕(山口 県) | 431, 432 |
| 蒼柴神社(新潟県) | 174 |
| 青島神社(大分県) | 576 |
| 青嶋八幡宮神社(磯八幡)(静岡県) … | 252 |
| 阿保神社(大阪府) | 347, 355 |
| 青麻神社(宮城県) | 35 |
| 青葉神社(宮城県) | 34, 36 |
| 青葉神社(埼玉県) | 110 |
| 丹倉神社(三重県) | 280 |
| 明石神社(兵庫県) | 375 |
| 縣居神社(静岡県) | 252 |
| 縣神社(岐阜県) | 242 |
| 赤塚氷川神社〔氷川神社〕(東京都) … | 138 |
| 赤人神社〔津田天満神社境内社〕(兵庫 県) | 379 |
| 赤間神宮(山口県) | 433 |
| 明の宮〔白峰宮〕(香川県) | 470 |
| 秋元神社〔八瀬天満宮社境内〕(京都府) | 305 |
| 朱の宮〔高家神社〕(香川県) | 471 |
| 赤穂大石神社〔大石神社〕(兵庫県) | 364, 366, 367, 378, 379 |
| 阿邪詞根神社(福島県) | 71 |
| 浅草神社(東京都) | 136 |
| 朝倉神社(高知県) | 501 |
| 朝日神社(大分県) | 570 |
| 浅利明神(神奈川県) | 144 |
| 足手荒神〔甲斐神社〕(熊本県) | 555 |
| 芦ノ湖水神社(静岡県) | 250, 251, 259, 260 |
| 東丸神社(京都府) | 313 |
| 足羽神社(福井県) | 194 |
| 愛宕神社(埼玉県) | 106 |
| 足立山妙見宮〔御祖神社〕(福岡県) … | 535 |
| 安倍晴明神社〔阿倍王子神社飛地境内社〕 (大阪府) | 347 |

| | |
|----------------------------|--------------------|
| 阿部野神社(大阪府) | 350 |
| 安部清明大神碑(神奈川県) | 144 |
| 阿保天神社(兵庫県) | 364, 365 |
| 甘樫坐神社(奈良県) | 386 |
| 天川神社(香川県) | 469 |
| 天鷲神社(秋田県) | 43 |
| 文字社〔北野天満宮末社〕(京都府) | 318, 329, 331, 343 |
| 文字天満宮(京都府) | 325, 329 |
| 荒井霊神社〔一宮浅間神社境内生祠〕(山 梨県) | 208 |
| 有氏神社(埼玉県) | 100 |
| 有磯正八幡宮(富山県) | 181 |
| 有磯神社〔有磯正八幡宮〕(富山県) … | 181 |
| 有南神社(在南神社)(奈良県) | 383 |
| 有盛神社(鹿児島県) | 594 |
| 在原神社(奈良県) | 380 |
| 在原神社〔高安天満神社境内社〕(奈良 県) | 380 |
| 阿波洲神社(東京都) | 128 |
| 阿波神社(徳島県) | 462 |
| 安藤神社(愛媛県) | 476 |
| 安德宮(福岡県) | 514 |
| 安德天皇社(香川県) | 466 |

【い】

| | |
|----------------------|---------------|
| 居合神社〔林崎居合神社〕(山形県) …… | 59 |
| 井伊神社(滋賀県) | 289, 290 |
| 飯田神社(神奈川県) | 160 |
| 飯田大明神〔飯田神社〕(神奈川県) … | 160 |
| 井伊谷宮(静岡県) | 262 |
| 夷王山神社(北海道) | 7 |
| 居神さん〔居神神社〕(神奈川県) | 158 |
| 井神社(岐阜県) | 233, 236, 242 |
| 居神神社(神奈川県) | 158 |
| 猪狩神社〔五十鈴神社境内社〕(宮城県) | 30 |
| 壱岐神社(長崎県) | 548, 549, 553 |
| 生目神社(宮崎県) | 583 |
| 池田神社(香川県) | 466 |
| 池主神社〔水神社境内〕(静岡県) | 261 |
| 池主霊社〔池主神社〕(静岡県) | 261 |

【あ】

| | |
|----------------------|----------|
| 会津藩主松平家墓所 →土津神社(福島県) | 72 |
| アイヌ交易 →最上徳内 | 16 |
| 青葉まつり →青葉神社(宮城県) | 34 |
| 秋月どんたく →垂裕神社(福岡県) | 520 |
| 赤穂四十七義士 →大石神社(兵庫県) | 366 |
| 赤穂浪士 | |
| →天野屋利兵衛 | 307 |
| →大石良雄 | 309, 365 |
| →萱野三平 | 367 |
| 安積疏水讃歌踊り →大久保神社(福島県) | 64 |
| 足尾鉍毒事件 →田中正造 | 87 |
| 足腰の神 | |
| →護王神社(京都府) | 345 |
| →和気神社(岡山県) | 421 |
| →御祖神社(足立山妙見宮)(福岡県) | 535 |
| →甲斐神社(熊本県) | 555 |
| 足手荒神大祭 →甲斐神社(熊本県) | 555 |
| 芦屋の公光 →公光・業平の祠(兵庫県) | 365 |
| 頭の病気 | |
| →頭之宮四方神社(三重県) | 278 |
| →入鹿神社(奈良県) | 388 |
| →御頭神社(宮崎県) | 582 |
| 天城山心中 →愛新覚羅慧生 | 431 |
| 安産の神 | |
| →鉄竜海 | 56 |
| →三木神社(茨城県) | 81 |
| →長良神社(群馬県) | 98 |
| →有氏神社(埼玉県) | 100 |
| →二宮神社(千葉県) | 117 |
| →水天宮(東京都) | 119 |
| →足羽神社(福井県) | 194 |
| →御妣神社(大阪府) | 351 |
| →柿本神社(兵庫県) | 366 |
| →小杜神社(奈良県) | 382 |

| | |
|--------------|-----|
| →高津柿本神社(鳥根県) | 408 |
| →和気神社(岡山県) | 421 |
| →井手神社(愛媛県) | 486 |
| 安政の大獄 | |
| →徳川慶勝 | 10 |
| →徳川斉昭 | 79 |
| →徳川慶喜 | 133 |
| →間部詮勝 | 205 |
| →孝明天皇 | 268 |
| →徳川慶勝 | 272 |
| →梅田雲浜 | 309 |
| →孝明天皇 | 317 |
| →三条実万 | 321 |
| →伊達宗城 | 486 |

【い】

| | |
|---------------------|-----|
| 居合術 →林崎甚助 | 58 |
| 生間流包丁式 →山蔭神社(京都府) | 339 |
| 生き神 | |
| →畠久神社(秋田県) | 44 |
| →白山神社(山形県) | 55 |
| →岡田大明神(岡田寒泉生祠)(茨城県) | 76 |
| →鶴飼神社(栃木県) | 83 |
| →機神社(機神宮)(栃木県) | 84 |
| →石川忠房生祠(群馬県) | 95 |
| →開成社(石川県) | 191 |
| →蕉園社(山梨県) | 209 |
| →池主神社(静岡県) | 261 |
| →住吉神社(広島県) | 428 |
| 一條大祭 →一條神社(高知県) | 499 |
| 一揆 | |
| →奥寺八左衛門 | 23 |
| →鈴木源之丞 | 87 |
| →堀江六之丞 | 93 |
| →高山彦九郎 | 96 |
| →遠藤兵内 | 100 |
| →鈴木準道 | 197 |
| →松木庄左衛門 | 203 |
| →三社神社(福井県) | 204 |
| →宗吾大明神(長野県) | 216 |
| →多田嘉助 | 219 |

日本の祭神事典

— 社寺に祀られた郷土ゆかりの人びと 増補改訂版

2026年5月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

©Nichigai Associates, Inc. 2026

不許複製・禁無断転載

〈落丁・乱丁本はお取り替えます〉 〈中性紙北越淡クリームキンマリ使用〉

ISBN978-4-8169-3097-3 Printed in Japan, 2026

本書はデジタルデータを有償販売しております。
詳細はお問い合わせください。